

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る  
自己評価結果公表用

事業所名:放課後等デイサービスみらい教室

	チェック項目	現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた 改善目標・内容
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等 スペースの十分な確保	パーティションや机などの配置を工夫し、スペースを確保している。またお子さんの特性に合った安心できるスペースを提供している。	はい……31 どちらともいえない……0 いいえ……0 わからない……2	今後もスペースの確保を継続し、お子様の特性に合わせて調整して参ります。
	2 職員の適切な配置	お子さん一名に対し、職員一名での関わりが可能になるように職員を配置している。	はい……32 どちらともいえない……0 いいえ……0 わからない……1	今後とも、よりよいサービスの提供のため、充足した職員配置を心がけて参ります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関の内側、外側に一段ずつ段差が設置されているが、現時点で不都合は生じていない。	・入り口には段差があるが、それ以外はわかりやすい環境になっている。 はい……27 どちらともいえない……1 いいえ……0 わからない……5	今後ともご利用者が快適に来所いただけるよう、バリアフリー化に努めて参ります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎朝清掃を実施している。また指導前後にも確認と消毒を行い、清潔の保持に努めている。	・子どもがいる空間はすっきりしていて安心できる。 はい……32 どちらともいえない……0 いいえ……0 わからない……1	利用前後や始業時の清掃・消毒を継続し、ご利用いただく皆様が不快感なく過ごせる環境を維持して参ります。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用する事が認められる環境になっているか	特性上配慮が必要なお子さんは、一部屋を個別で使用できるよう努めている。		今後も必要に応じて臨機応変にお子様合った環境を提供できるよう努めて参ります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	業務改善への意見は随時抽出を行い、また活発に参加できる職員同士の関係性を作るよう努めている。PDCAサイクルの質を向上できるように、会議時以外にも多方面の意見を抽出している。		PDCAサイクルの流れを確立して取り組み、評価を全体で共有しながら目標達成に向けて取り組む事ができるよう、改善に努めていきます。
	2 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	保護者向け評価表を基に、評価内容を各職員に周知し、より良い支援・サービス提供に向け尽力している。		今後も保護者様のご意見を基に、より良い支援・サービス提供に向け、納得いただける支援内容の維持・改善に努めて参ります。
	3 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	月々の会議に加えて個別面談でも職員の意見を把握する機会を設け、業務改善に繋げている。		今後も各職員の意見等を尊重し、業務改善に尽力して参ります。
	4 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は現在行われていないが、相談支援員や学校関係者等は適宜業務の見学にお越しいただいている。		自己評価に加え、第三者視点から当施設の客観的な意見を把握し、サービスの質を高められるよう努めて参ります。
	5 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	入社時には職員研修を実施しているのに加え、随時内部研修や外部研修を実施し、研修機会の確保に努めている。		今後も内部・外部研修を実施していきます。各職員が益々成長できる事業所となるように努めて参ります。
適切な 支援の提供	1 子どもの事を十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているか	専門的な知識を持った指導員が支援に当たっている。お子さんの特性を考慮した支援プログラムを個別に実施している。	はい……33 どちらともいえない……0 いいえ……0 わからない……0	各お子さんの特性に応じ、専門的な視点から個々に寄り添った支援を提供していきます。
	2 適切に支援プログラムが公表、作成されており、事業所の提供する支援内容と合っているか	支援プログラムについては作成済みであり、今後ホームページにて公表予定である。事業所の提供する支援についてはプログラムに基づいて行っている。	はい……31 どちらともいえない……2 いいえ……0 わからない……0	今後ホームページに支援プログラム公表します。プログラムに基いた支援を提供していきます。
	3 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援計画を作成する前に必ずアセスメントを行いお子さんや保護者の方のニーズを基に計画書を作成している。	・保護者の意見がしっかり反映され、また必要と思われることも含めて作成されている。 はい……33 どちらともいえない……0 いいえ……0 わからない……0	ご意見ありがとうございます。今後も各ご家庭の困り事に寄り添い、職員一同連携して支援を行い、信頼関係構築に努めて参ります。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目「本人支援」「家族支援」「移行支援」が選択及び具体的な支援内容の設定	個別支援計画の中に「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目を設定している。各お子さんの状況に合わせて具体的な支援内容を設定している。	はい……31 どちらともいえない……1 いいえ……0 わからない……1	各お子さんご家庭の状況を職員全員で分析し、共有を行いながらその時に必要な支援について具体的に設定していきます。

	チェック項目	現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた 改善目標・内容	
適切な 支援の 提供	5	児童発達支援計画又は放課後等 デイサービス計画に沿った適切な 支援の実施	児童発達支援管理責任者の意見だけ でなく、指導員全体で意見交換し、計 画作成を行っている。支援の際は目 標を全指導員で共有して行っている。	はい……33    どちらともいえない……0 いいえ……0    わからない……0	個別支援を継続して行い、日々のお 子さんの様子を共有・把握しながらよ り良い支援が提供できるよう努めて 参ります。
	6	活動プログラムが固定化しない ような工夫の実施	日々のお子さんの様子から指導員同 士で意見交換を行い、お子さんに とって負担にならない範囲で活動を 変化させながら支援している。	・その時必要なことをしてもらっている。 はい……32    どちらともいえない……0 いいえ……0    わからない……1	今後もお子さんや保護者の方の意見 を聞きながらプログラムの構成・調節 を行い、日々の状況に合わせた活動 を実施して参ります。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定 こども園、幼稚園等との交流や、放課後 等デイサービスの場合の放課後児童ク ラブや児童館との交流など、障害のない 子どもと活動する機会の提供	現在は保育所、放課後児童クラブ等 で障害のないお子さんと活動する機 会の提供を行っていない。	・利用者は日常生活の中で交流が有り、デイ には求めています。不要である。 はい……5    どちらともいえない……3 いいえ……6    わからない……17 無回答……2	ご意見ありがとうございます。今後 保護者の方からニーズがございまし たら検討していきます。
	8	児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画を作成する際には、児童発達支 援管理責任者だけでなく、子どもの支援に 関わる職員が共通理解の下で、子どもの最 善の利益を考慮した検討が行われているか	計画作成の際は児童発達支援管理 責任者だけではなく全職員で各お子 さんの支援について検討し、作成を している。		支援計画作成の際は全職員でお子さ んの様子等について検討し、共通理 解の下で必要な支援内容を考えてい きます。
	9	子どもの適応行動の状況を、標準化され たツールを用いたフォーマルなアセ スメントや、日々の行動観察なども含む インフォーマルなアセスメントを使用 しての確認	アセスメントシートを用いてお子さ んの状況を記録している。また、日々 の支援においてはお子さんの活動記 録を各指導員が用紙に記入し、全職 員で確認・共有している。		アセスメントシートや日々の記録を 正確に行い、職員間での共有を徹底 し各お子さんの状況把握に努めて参 ります。
	10	子どもの状況に応じ、かつ個別活 動と集団活動を適宜組み合わせた 児童発達支援又は放課後等デイ サービス計画の作成	日々の様子を整理し、児童発達支援管理 責任者の意見だけでなく、指導員全体 で意見交換し、計画作成を行っている。指 導の際は目標を全指導員で共有して行 うように努めている。個別支援を主にし ている為、集団活動は行っていない。		各お子さんの状況に合わせて個別支 援を中心に児童発達支援又は放課後 等デイサービスの計画を作成して参 ります。
	11	チーム全体での活動プログラムの 立案	児童との関りは個別支援という対応 になるが、会議等で職員同士で意見 交換を行いながら日々の活動プログ ラムを考えている。		職員同士で日々コミュニケーション や連携をとり、数多くのアイデアが 出るようチームワークを固りながら 活動プログラムを考えて参ります。
	12	支援開始前における職員間でその 日の支援内容や役割分担について の確認の徹底	朝礼を行い、職員間で本日の流れや お子さんの対応における留意点を確 認している。お子さん対応以外の業 務に関してもその日の役割分担を全 員で確認している。		今後も朝礼を含め日頃のコミュニ ケーションにおいても職員同士での 意見共有を徹底し、支援にずれが生 じないよう防止、改善、向上に活か して参ります。
	13	支援終了後における職員間でその 日行われた支援の振り返りと気付 いた点などの情報の共有化	支援終了後に各職員からその日の 振り返りを聞き、必要なことは全 体で共有している。		今後も情報共有を行い、更に改善 できるよう努めて参ります。
	14	日々の支援に関しての正確な記録 の徹底や、支援の検証・改善の継 続実施	利用ごとに支援報告書の作成を行 い、お子さん個人ごとの保存を徹底 している。責任者への報告としても、 支援報告書を活用しながら支援内容 を検証している。		今後も正確な記録作成を継続し、問 題発生時の検証・改善に活用して参 ります。
	15	定期的なモニタリングの実施及び 児童発達支援計画又は放課後等 デイサービス計画の見直し	半年ごとに保護者の方とお話し、相 談支援員の方の意見を聞きながら見 直しを実施している。		今後も貴重なモニタリングのお時間 を大切に、各お子さんに寄り添っ た、最適な個別支援計画書作成に努 めて参ります。
	16	ガイドラインの「4つの基本活動」 を複数組み合わせさせて支援を行っ ているか	ご利用されるお子さんご様子に合わ せて自立支援と日常生活充実のための 活動・創作活動・余暇の提供を行って いる。地域交流の機会については十分 な提供ができていない状況である。		今後もご利用されるお子さんの様子 に合わせて活動を組み合わせながら支 援を実施して参ります。
	17	子どもが自己選択できるような支 援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を 行っているか	個別支援である為お子さん一人ひと りの意見を取り入れやすい環境に なっている。お子さまが自己選択し やすいように個別での対話の時間を 日々の支援において重視している。		個別支援の中でお子さん一人ひと りと密に対話しながら自己選択・自 己決定を促す支援を行って参ります。

	チェック項目	現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた 改善目標・内容		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	現時点で障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には出席できていない。お子さんとモニタリングと、書面での情報共有を行っている。		今後はモニタリングと書面以外でも情報共有を行う機会を設け、障害児相談支援事業所との関係を深められるよう努めて参ります。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在は療育的ケアが必要な方や、重症心身障害をお持ちの方はご利用されていません。		今後、重症心身障害をお持ちの方や医療的ケアが必要な方がご利用されることがありましたら、関係機関と連携し、適切な支援を行えるよう配慮して参ります。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				
	4	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				定期的な学校との情報共有はできていない。お子さまの状況によって不定期で学校と情報共有を行うことはある。送迎は行っていません。
	5	インクルージョンの観点から児童発達支援事業所からの併行利用や円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有や相互理解ができていますか	現状保育所や幼稚園、小学校等と支援内容において十分な情報共有ができていないが、保護者の方を通じて保育所等の情報はお聞きしています。		保護者の方のニーズに合わせて柔軟に情報共有が行えるよう努めて参ります。	
	6	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	小学生から中学生までを対象としているほか、現在支援の移行が想定されるお子さんをお預かりしていないため、現在障害福祉サービスとの連携は行っていません。		今後はお子さんの状況に合わせて他の障害福祉サービス事業所とも連携を取り、お子さんの進路支援を考慮して参ります。	
	7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、スーパーバイズや助言、専門機関での研修の受講の促進しているか	ZOOMを使用した研修会を、外部講師をお招きして開催しています。		今後もより良いサービスをご提供するため、研修の受講を検討いたします。	
	8	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	現状自立支援協議会等へは参加ができていません。		今後は自立支援協議会等にも参加ができるよう努めて参ります。	
	9	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民の方や、他の事業所との交流活動は行っていません。		保護者の方のニーズに合わせて他事業所や地域住民との交流活動を検討して参ります。	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	大まかな支援方針、利用者負担等をご契約時に責任者より説明を実施しており、支援内容に変更がある際には随時情報共有や説明を実施している。	はい……33 いいえ……0	どちらともいえない……0 わからない……0	今後もご契約時のご説明を実施するとともに、適宜支援内容を丁寧にお伝えして参ります。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	年に2回、お電話か面談の機会を設け、児童発達支援計画もしくは放課後等デイサービス計画の支援内容を保護者に説明する機会を設けている。	電話でも、一つ一つしっかり説明されている。 はい……33 いいえ……0	どちらともいえない……0 わからない……0	ご意見ありがとうございます。今後もすべてのご利用者とそのご家族様に納得いただける支援を提供できるよう、支援計画の説明機会を確保して参ります。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	具体的にプログラムを組んだペアレント・トレーニング等の支援は行っていません。	気にかかることは電話でも丁寧に意見してもらえます。 はい……15 いいえ……2	どちらともいえない……5 わからない……11	適宜必要に応じてご相談に応じる事はありますが、保護者様向けの支援プログラムの確立には至っておりません。今後のサービス向上に向け、検討して参ります。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に面会できるご家庭には毎時、お子さんの支援状況について情報共有を行っている。また、紙媒体を通じて日々の支援状況を共有し、保護者からの質問にも随時お答えしている。	電話や報告書などで、子どもの様子を伝えてもらえる。 はい……33 いいえ……0	どちらともいえない……0 わからない……0	ご意見ありがとうございます。今後も保護者の皆様と支援状況の共有・意見交換を行い、安心してご利用いただけるよう努めて参ります。

	チェック項目	現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた 改善目標・内容			
保護者への説明責任・連携支援	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	お子さん一人ひとりの状況に合わせて、面談もしくはお電話など、様々なご相談を受ける時間を設けている。	はい……33 いいえ……0	どちらともいえない……0 わからない……0	必要に応じて生活状況の聞き取りや、定期的な面談も検討していき、より保護者様にも寄り添えるよう努めて参ります。	
	6	事業所の職員から共感的に支援をされているか	お子さんや保護者の意向は、まず受け止める姿勢を持つよう職員に指示している。また、直接ご相談を受けた際には時間を設け、意向の聞き取り等を行っている。	はい……33 いいえ……0	どちらともいえない……0 わからない……0	今後もすべてのご利用者様のご意向に共感と寄り添いの姿勢を持ち、安心感を持ってご利用いただけるよう尽力して参ります。	
	7	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援、きょうだい同士の交流	父母の会や保護者同士の連携に関して支援は行っていない。きょうだい同士の関りについては必要に応じて適切な支援を実施している。	はい……4 いいえ……8	どちらともいえない……2 わからない……19	現状ご利用いただいている保護者様同士の交流の場はございませんが、今後は必要に応じてきょうだい同士の交流支援と共にサービス向上を目指して参ります。	
	8	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	ご利用に関して苦情をいただいた際には迅速にレスポンスを行い、可能な限り改善に努めている。	はい……24 いいえ……0	どちらともいえない……2 わからない……7	今後もお子様・保護者様に安心してご利用いただける施設であるよう、ご意見を尊重し、より良いサービス提供に尽力して参ります。	
	9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日々の紙媒体での報告に加え、必要に応じてお電話でのやり取りや、面談を行い、情報伝達のための配慮を行っている。	・報告書でやり取りしている。 はい……33 いいえ……0	どちらともいえない……0 わからない……0	今後もすべてのご利用者様に寄り添った情報伝達に努めて参ります。	
	10	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報等の発行は行っていないが、ホームページ上で情報を発信している。	はい……15 いいえ……3 無回答……1	どちらともいえない……2 わからない……12	現在は施設からご家庭への情報発信がホームページのみとなっておりますが、今後はより親しみやすい施設になるよう、定期的なお便りの配布等を検討して参ります。	
	11	個人情報の取扱いに対する十分な対応	各職員に守秘義務を遵守するように指導を行っている。また、個人情報は破棄、外部に持ち出さない事を今後も徹底して指導している。	はい……32 いいえ……0	どちらともいえない……0 わからない……1	今後も個人情報が外部に漏れることがないように、最大限配慮し、現在行っている対策を徹底して参ります。	
	12	児童発達支援計画、放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向の確認をしているか	支援計画の見直し、作成の際には必ず保護者とお子さんの意向を確認する時間を設けている。また、状況に応じて随時保護者とお子さんの意向を確認しながら支援計画の変更を行っている。			今後もご利用いただくお子様や保護者様の意向を尊重し、より良い支援を行えるよう努めて参ります。	
	非常時等の対応	1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底、	各種マニュアルを作成し、職員への周知を行っている。保護者への周知については保護者様からの要望がない為周知できていない。	・マニュアルは説明されている。 はい……30 いいえ……0	どちらともいえない……0 わからない……3	ご意見ありがとうございます。今後も職員間でマニュアルの周知徹底を行い、保護者の方にもご要望に応じて周知を行って参ります。
		2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	非常災害時の訓練については地震、火災等を踏まえた避難訓練を実施している。災害用アプリを活用し、迅速な状況把握も進めている。	はい……15 いいえ……0	どちらともいえない……2 わからない……16	災害発生時の対応について、職員の役割やお子さんの特性を確認し、様々な状況を想定した避難訓練を実施いたします。
		3	子どもの安全を確保するための計画について周知されるなど、安全の確保が十分に行われた上で支援の実施	利用されるお子さんの安全が確保されるように職員間で話し合い、安全確保がされた環境で支援を実施している。	はい……27 いいえ……0	どちらともいえない……1 わからない……5	お子さんの特性や様々な状況を考慮してお子さんの安全が確保された上で支援を行って参ります。
		4	事故等(怪我等を含む)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明	これまで大きな事故は起きていないが、些細な怪我であっても速やかに保護者の方へ連絡し、状況等の説明を行っている。	・怪我や事故などが無いのでわからない。 はい……26 いいえ……0	どちらともいえない……1 わからない……6	ご意見ありがとうございます。お子さんが安全に過ごせるように配慮して参ります。万一事故等が発生した場合にはすみやかに連絡を行います。
5		業務継続計画(BCP)を策定、非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	業務継続計画(BCP)は策定している。定期的に職員間で避難訓練を行っており、災害時に速やかに対応ができるようにしている。			定期的に避難訓練を実施し、災害時に迅速かつ適切に対応できるように致します。	

	チェック項目	現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた 改善目標・内容	
非常時等の対応	6	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況の確認	入会前やモニタリングの際に服薬や持病等については確認している。	入会前、モニタリング時等定期的にお子さんの服薬や持病等の様子について確認を行って参ります。	
	7	安全計画の作成、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援の実施	安全計画を作成し、定期的に行われる避難訓練で利用されるお子さんの安全管理について確認している。	定期的な避難訓練の実施は継続し、その際にお子さんの安全管理について職員間で確認を徹底して参ります。	
	8	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等への周知	災害時の避難等、必要な情報は保護者の方にも共有し、対応を行っている。	災害時の避難場所や連絡手段等について各ご家庭に周知をして参ります。	
	9	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	監視カメラを設置し、虐待を未然に防ぐことができるよう対応している。社内にて虐待防止に向けての勉強会を実施している。また、虐待防止委員会を設置し、虐待になりうる可能性のある事案について検討した。	引き続き、虐待防止委員会にて研修を行い、職員全員が虐待に対する正しい知識と対処法を身に付けていけるよう努めて参ります。また、外部研修にZOOM等を活用して参加を検討しています。	
	10	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	自傷・他害行為により、命の危険性、他人を傷つけてしまう恐れがあると判断した場合は、身体拘束を行う場合がある。原則として、自傷・他害行為があるお子様に対しては程度を確認しながら受け入れをご相談させて頂いている。	自傷・他害行為のある子どもへの支援の仕方や関わり方についての知識を深めるとともに、身体拘束を行う場合は保護者様への説明を必ず行い、不要な拘束行為はしないように徹底して参ります。	
	11	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	飲食物は提供していない。ご利用される方には飲み物を持参するようにお願いをしている。	引き続き、状況に応じて水分補給ができるように、飲み物の持参をお願いしていきます。また、職員が子どもの様子を注意して観察し、お子さんの脱水症状やアレルギー反応等に気づけるよう徹底していきます。	
	12	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底、再発防止の方策の検討	会議時にヒヤリハットの事例について事業所内で共有している。再発防止策についても職員間で検討し、共有している。	集計を行い、検討の場を設けて、各ヒヤリハット事案に対応していきます。	
満足度	1	子どもが安心感をもって通所できているか	はい……33 いいえ……0	どちらともいえない……0 わからない……0	日々お子様が安心感を持って過ごしていただけるよう、今後も努めて参ります。
	2	子どもは通所を楽しみにしているか	はい……30 いいえ……1	どちらともいえない……2 わからない……0	より多くのお子様楽しく通所していただけるよう、お子様のご意見の尊重、サービス向上に尽力して参ります。
	3	事業所の支援に満足しているか	はい……32 いいえ……0	どちらともいえない……1 わからない……0	すべてのご利用者様にご満足いただけるよう、適宜ご意向・ご意見の確認等を行い、支援の向上に努めて参ります。